

## いのちと森を守る活動



### 水が変えるもの・変えられないもの タンダ村&クルファンディ村報告

大学3年 坂本貴明

フィリピンに5月末から来て、モロ女性センターが運営する幼稚園があるコミュニティで簡単な調査をしたり、デモ行進に参加したりしています。この度、タンダ村とクルファンディ村に6月に完成した簡易水道のモニタリングに同行させていただきました。



まずジェネラルサントス市から車を2時間ほど走らせて着いたのがタンダ村です。タンダ村の人は以前

はバケツやプラスチック製のコンテナを持ち、急な斜面を下って川まで水汲みに行っていました。3つのコンテナを頭のうゑに1つ両手に2つ持って運び、だいたい30分から1時間かかっていたそうです。新しい水汲み場を使っている人に話を聞くと、「今では毎日すぐに水が使えるので本当に生活が楽になった」「空いた時間で他の家事ができるようになった」とみんな嬉しそうにしていました。水が簡単に手に入るといふこと以外に、近所の人がよく集まるので交流の場にもなっています。

次に訪れたのがタンダ村から山道を1時間歩いて到着したクルファンディ村です。14世帯、約65人が暮らす小さな村です。ここにも水道を通して水汲み場を作ったのですが、最近住民の村離れが進んでいるそうです(注)。この日は、歩いて片道2時間以上かかるバランガイ・ヘルスセンターで幼児のワクチン接種の日でした。そのため、お母さんと小さな子どもたちが不在だったからかもしれませんが、とても寂しく感じました。日本でいう限界集落のようです。しかし僕がインタビューした人たちはまだ20代、30代と働き盛りで、10年20年後山奥に孤立しているこの村がどうなっているか心配です。タンダ村と同じく水道建設は生活をより豊かに便利に変えましたが、この村は他にも課題があると感じました。

九島さんに同行し、普段では行けない先住民族

の村でお話を伺うことができました。この経験を胸に、残りのミンダナオ生活を楽しみたいと思います。

(注) 離村した住民はジェネラルサントス市内のごみ山で鉄くずやペットボトルを探し集めてリサイクル業者に販売する、スカベンジャーと呼ばれる仕事を行っているそうです。高地野菜の栽培に適した気候なのにその技術や種を購入する資金がなく、現金を得るため仕方なく行っているのです。この問題はCMIPとともに引き続き考えていきたいと思っています。



### ダグマ山系森林再生事業 (三井物産環境基金助成・3年計画)

山肌に広がる畑の等高線に沿って植えられたパラゴムノキの苗木は勢いよく成長し、新しい葉をつけていました。

8月31日にブラクール村で集会に出席し、この1年を振り返ってもらいました(初年度は9月末に終了)。そのなかで印象に残ったのが、ある女性が「夫の事業」と言わず、「私の事業」と発言したことでした。これは事業の受益者名は世帯主の男性になっていても、実際は奥さんやお子さんも苗木の世話をしており、農業技術研修を受講しているからです。

また自分の土地を持たないため、組合所有地を借りて植林している受益者もいます。いずれも今すぐの収入にはならないが、6,7年後には会社勤めをするのと同じくらいの収入が得られることを期待して、木々の世話を続けていくことを約束してくれました。(九島)

### CMIPヘルス担当・ジョジョの報告(7-9月)

- \* 入院・治療支援患者数合計 107名  
<病名別>インフルエンザ・肺炎 56・高血圧 8・脱水症と急性胃腸炎 14・歯痛 7・外傷 2・膀胱炎 6・皮膚病 5・デング熱 2・腸炎性高熱 3・気管支炎 2・肺結核 2
- <受入施設別>ゼネラルサントス公立病院 49、民間診療所・病院 6、CMIPクリニック 52
- \* 巡回診療: 8月フタク村、9月トロクハット村
- \* CMIP地域医療保険(グリーンカード)料徴収  
(7月 1,980ペソ、8月 1,220ペソ、9月 820ペソ)
- \* 奨学生医療支援: 精神疾患のエドナ(休学中)の専門医による診察は月1回。徐々に良くなっている。
- \* CMIPクリニック傍らの薬草も順調に育っています。